

幸手市・日本保健医療大学共同研究 健康長寿埼玉モデル「めざせ毎日 10000 歩運動教室」  
研究発表一覧

1. Ryoma Asahi, Tomoko Ikeda, Tomohiko Kamo, Masato Azami, Hirofumi Ogihara,  
Hiroaki Fujita

Grip strength and Body Mass Index are associated with hyperglycemia in middle aged  
elderly community-dwelling people

2nd International Meeting of Asia Rehabilitation Science in Narita 18st March 2018

2. (国際学会招聘講演) Tomoko Ikeda

(中国語) 日本の健康・医療・福祉一体化政策 社区共同発展型社会的始動

(英訳) Towards realization of "community cohesive society"

~ Moving out Japan's health and medical welfare integrated policy ~

(和訳) 地域共同発展型社会に向けて動き出した、日本の健康・医療・福祉一体化政策

第 3 回日中高齢化社会政策と産業化シンポジウム 北京清華大学 19st May 2018

⇒ [講演資料公開中](#)

3. 旭竜馬, 池田智子, 加茂智彦, 浅見正人, 荻原啓文, 藤田博暁

60 歳代と 70 歳代の地域在住中高年者における運動機能の経年変化について

第 4 回日本予防理学療法学会サテライト集会

⇒ [学会優秀賞受賞](#)

4. 加茂智彦, 池田智子, 旭竜馬, 浅見正人, 荻原啓文, 石井秀明, 西田裕介

地域在住高齢者におけるソーシャルフレイルに影響を与える因子の検討

第 4 回日本予防理学療法学会サテライト集会

⇒ [発表抄録、ポスター](#)

5. 浅見正人, 池田智子, 旭竜馬, 加茂智彦, 荻原啓文, 濱口豊太

地域在住高齢者の社会参加に関連する要因の多面的検討

第 4 回日本予防理学療法学会サテライト集会

⇒ [発表抄録、ポスター](#)

6. 荻原啓文, 池田智子, 加茂智彦, 旭竜馬, 浅見正人

地域在住高齢者の身体活動量に影響を及ぼす因子の検討

第 4 回日本予防理学療法学会サテライト集会

⇒ [抄録、ポスター](#)

7. (国内招待講演) 旭竜馬

骨粗鬆症による骨折予防のための地域への取り組み-理学療法士・骨粗鬆症マネージャー  
の視点から-

第8回埼玉東部骨粗鬆症フォーラム

⇒ [開催案内](#)

# 幸手市・日本保健医療大学共同研究 健康長寿埼玉モデル「めざせ毎日10000歩運動教室」 研究成果発表

↓2018日中高齢化社会政策と産業化シンポジウム  
招聘講演(池田学部長)@北京



↑2018日本予防理学療法学会  
優秀賞受賞(旭講師)



幸手市共同研究 健康長寿埼玉モデル  
「めざせ毎日10000歩運動教室」  
埼玉県優秀賞受賞(賞金950万円)



渡辺幸手市長 上田埼玉県知事

平成30年度 健康長寿優秀市町村表彰式

